

臨床研究に関する情報公開

福井大学医学部附属病院放射線部では、倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施いたします。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 26 年 福井大学医学部附属病院放射線部

【研究課題】

3.0TMRI を用いた Gd-EOB-DTPA 肝細胞造影相における至適撮像法の検討

【研究期間】

平成 26 年 7 月 10 日～平成 27 年 12 月 31 日

【対象者】

2012 年 1 月から 2014 年 5 月に福井大学医学部附属病院で Gd-EOB-DTPA（肝特異性造影剤）を使用して上腹部 MRI 検査を行った方

【研究の意義・目的】

高磁場である 3.0TMRI 装置は、従来の 1.5TMRI 装置と比較して性能が著しく向上したことから様々な領域において高い画質が得られるようになった。しかし、上腹部領域においては T_1 値の延長によりコントラストの低下が問題になる場合がある。特に肝特異性造影剤である Gd-EOB-DTPA（EOB）を使用した場合の肝-腫瘍コントラストが、1.5TMRI 装置よりも低下する。

本研究の目的は、2 種類の異なる脂肪抑制併用 3D T_1 強調画像を取得して EOB 投与後の肝-腫瘍コントラストを比較検討することで診断に有用な画像を提供することである。

【研究の方法】

EOB 投与後に 2 種類の異なる脂肪抑制併用 3D T_1 強調画像（LAVA-FLEX, T_1 WI vascular）を撮像する。得られたそれぞれの画像における肝、腫瘍に関心領域を設定する。そして肝-腫瘍コントラストを算出して統計学的有意差検定によって比較する。また、EOB 取り込み能は患者の肝機能によって左右されるため、患者背景を肝機能別に分類（Child-Pugh 分類）してコントラストを同様に比較する。Child-Pugh 分類だけではなく EOB の造影能に影響を与える因子として他の血液検査の項目も関与するという報告がある。その点を考慮して各血液検査の項目と肝-腫瘍コントラストを比較する。

【研究組織】 実施責任者 賀田智美 放射線部・診療放射線技師
研究分担者 金本雅行 放射線部・診療放射線技師
研究分担者 木村浩彦 放射線科・教授
研究分担者 谷内田拓也 放射線部・診療放射線技師

【本研究に関する問い合わせ】

本研究は診療情報を匿名化して取り扱い、個人情報を厳重に保護して行います。なお、研究に関する患者さん、または診療情報の使用に関して同意いただけない患者さんはいつでも構いませんので、お手数ですが下記問い合わせ先までお知らせください。

○ 問い合わせ窓口

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺下合月 23-3
福井大学医学部附属病院 放射線部 賀田智美
電話：0776-61-3111（内線番号 3410）

○ 苦情の窓口

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺下合月 23-3
福井大学 総務部 松岡キャンパス総務室 学術支援係
電話：0776-61-8614 FAX：0776-61-8153